



平成26年3月2日（日）13：00から神戸市勤労会館において行われた、ひょうご安全の日推進事業シンポジウム「巨大災害と難病患者」（兵庫県難病団体連絡協議会主催、兵庫県・神戸市など後援）において、神戸大学名誉教授井上欣三先生が、災害時医療支援船構想推進協議会会長として、今年1年のうごきについて講演されました。

講演では、平成23年2月3日に行われた、ひょうご安全の日推進事業シンポジウムにおいて《船舶活用を 搬送船 から 宿泊船・避難所船にも構想拡大》を訴えたことを契機に、これが平成25年3月3日のフェリー『さんふらわあ・ぱーる』における《船内見学会》および《災害時医療支援船構想推進協議会キックオフ》に結びついた経緯について触れ、そして、平成25年度に国交省 海事局内航課が事務局となった国の委員会「大規模災害時の船舶活用に関する調査検討会」における年度報告書のとりまとめにより、このアイデアが、これまで構想の段階にあったものが、いよいよ実現のステージに移るとの観測が示されました。

今後、国交省において検討のゴールに向けた取り組みの予算化し、取り組みの具体化によって、災害時に実際に船を準備できる道筋がつくこととなります。

◆関連パネル

# 実際に船を準備できる仕組みの実現

＜災害時医療支援船構想推進協議会＞  
＜国交省：大規模災害時の船舶活用に関する調査検討会＞

## 検討の前提

- ①災害時支援における船の活用：**民間船**を活用する
- ②医療のすみわけ：急性期医療（病院船）は政府艦船とDMAT  
：**災害関連死**を防ぐための**慢性期（救護所）医療**は民間船とJMAT

## 検討のゴール（構想の実現、実際に船を準備できる仕組みの実現）

- ①船の特性を活かした災害対応を**国の防災基本計画に記載し**、地域の防災計画に反映する：内閣府
- ②民間船の**確保・協力の仕組み**を確立する：国交省海事局
- ③平時における訓練を通じた**マニュアルづくり**を官民一体で実施する

## 進捗

26.3.11 国交省調査検討会：9月中間とりまとめ、3月最終とりまとめ

26.5.17 推進協議会の成果：兵庫県医師会館フォーラムで報告・シンポジウム

## ◆写真



